

登録コード	L2990100	開講年度	2026				
担当教員	荒井 英治郎			副担当			
授業科目	生涯学習概論						
英文授業名	Introduction to Lifelong Learning						
授業タイトル	生涯学習概論						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目	該当	読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			教育改革の基調に据えられている生涯学習社会における学びを 実践する資質・能力を修得することができる			
	【2022年度以降加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			教育改革の基調に据えられている生涯学習社会における学びを 実践する資質・能力を修得することができる			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			教育改革の基調に据えられている生涯学習社会における学びを 実践する資質・能力を修得することができる			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			教育改革の基調に据えられている生涯学習社会における学びを 実践する資質・能力を修得することができる			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。 【開拓力・企画発想能力】			教育改革の基調に据えられている生涯学習社会における学びを 実践する資質・能力を修得することができる			
授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業のテーマは、人間形成における教育・学習の機能について理解を深めながら、生涯学習社会における学びのあり方を構想することである。特に、社会教育と生涯学習に関する諸論点（思想、歴史、法制度、行政、施設、スタッフ、政策動向、居場所づくりなど）に関する基礎的知識を習得し、生涯学習社会における学びを実践する能力とともに、他者の学びを支援するために必要な条件を具的に提示することを到達目標とする。 本授業では、生涯学習に関する様々なテーマ（生涯学習の理念と思想、生涯にわたる人間形成、生涯学習政策、生涯学習の多様な学習方法など）の基礎的理解を通じて、生涯学習社会における学びを効果的に実践していくことを支援することができる能力を習得する機会を提供する。 なお、本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。						
授業計画	本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。 授業計画 第1回：生涯学習の理念 第2回：生涯にわたる人間形成 第3回：生涯学習を支える思想 第4回：行政による生涯学習の振興 第5回：民間団体・機関による生涯学習支援 第6回：生涯学習支援に関わる人的支援と物的支援 第7回：世界教育改革動向 第8回：現代社会と学びの変化 第9回：学校教育とキャリア教育 第10回：夜間学級の取り組み 第11回：生涯学習の多様な学習方法 第12回：ワークライフデザイン 第13回：プレゼンテーション入門 第14回：セルフコントロール入門 第15回：生涯学習の現代的課題、授業アンケート						
成績評価の方法	コンテンツごとに提出してもらう「リフレクションペーパー」や「レポート」（5割）などから総合的に評価します。						
成績評価の基準	生涯学習社会の理念を概括することができるか、生涯学習の各種取り組みの特徴を概括することができるか、生涯学習の実践に関する自身の見解と展望を論じることができるか。 から のうち、全て満たしていたら「卓越している」ないし「かなり上にある」、 から のうち2項目を満たしていれば「やや上にある」、1項目を満たしていれば「水準にある」。						
事前事後学習の内容	授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回リアクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 60時間以上の時間外学習が必要となります。						

履修上の注意	授業は、「オンデマンド方式」で展開します。 「オリエンテーション資料」をお読みいただき、履修するかどうかの判断をして下さい。 授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回アクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 「最終レポート」に関しては、後日eALPS上にアップしますので、各自確認して下さい。 何かご不明な点があれば、講義担当で教職支援センターの荒井（earai@shinshu-u.ac.jp）までご連絡ください。
質問、相談への対応	簡単な質問については講義中に随時受け付け、講義中・講義後・次回授業時に説明を行う。その他、初回授業時に伝えるメールアドレスにて随時質問を受け付けるものとする。
教科書	特になし
参考書	授業時に紹介する